

琉球銘柄豚肉生産販売事業 「(株)がんじゅう(仮称)」の設立について

この度、社内ベンチャー制度である「MOVE 2000プログラム」(沖縄ベンチャー制度)を活用して、平成 15 年 3 月下旬に、飼料や飼育にこだわった安全で高品質な豚肉を販売する新会社「(株)がんじゅう(仮称)」を設立することとしましたのでお知らせ致します。

同会社の事業概要については、下記のとおりとなっております。

記

1. 新会社概要

(1) 会社名：株式会社がんじゅう(仮称)

(2) 所在地：沖縄県読谷村伊良皆^{よみたんそんいらみな}

(3) 代表者：桃原^{とうばる} 清一郎^{せいいちろう}(当社関係会社である(株)アステル沖縄社員)

(4) 資本金：1,000 万円

沖縄電力(株) 510 万円

桃原清一郎 340 万円

生産者 3 者 150 万円

(5) 設立予定日：平成 15 年 3 月末

(6) 事業規模：初年度の売上は約 2 億円、7 年後には約 7 億円の売上を見込む

2. 事業内容：

県内の生産農家 3 者が独自で肉質の良さを追求し、15 年の歳月を経て研究配合した飼料を使用し、衛生面にこだわった豚舎で飼育するなど、独自の飼料や飼育方法により生産した、沖縄の安全で高品質の豚肉を販売する。

また、配合飼料や豚舎等の情報開示や、他の豚肉との混在を防ぐために既存流通体制とは違う、「生産者」から「消費者」という「ドア・トゥ・ドア」の一貫した流通体制を確立し、最近の消費者の「食」に対する安全性の不安を払拭し、安心・安全・高品質の豚肉を販売する。

3. 提供商品：

現在の市場に流通している銘柄豚以上の品質と、さらに歴史的に数百年の豚食肉文化をもつ沖縄という付加価値をつけた、安全で高品質の豚肉を提供する。

「おきなわ豚^{とん}（仮名）」：

一般に食されている豚と同一の品種ではあるが、独自の飼料や飼育方法により高品質の豚に仕上げた商品。

「おきなわ島豚^{しまぶた}F 1（仮名）」：

幻の豚と業界では言われている琉球在来島豚アゲーとデュロックを掛け合わせた豚である。おきなわ豚と同様に、独自の飼料や飼育方法により高品質の豚肉に仕上げた商品。

3. 販売先：

東京都内の高級デパートを中心に、高級料飲店やホテル等、本土市場をメインとした販売を行う予定。

4. 営業開始時期：

「おきなわ豚（仮名）」に関しては、平成 15 年 7 月に東京を中心に販売を開始する予定。

「おきなわ島豚 F 1（仮名）」に関しては、現在、まだ研究開発中であり、平成 16 年度に販売を開始する予定。

初年度は「おきなわ豚（仮名）」のみで約 3,300 頭、7 年後には「おきなわ豚（仮名）」、「おきなわ島豚 F 1（仮名）」合わせて約 9,500 頭を出荷する計画。

以上

[参考]

沖電ベンチャー制度「MOVE2000プログラム」の概要について

当社は、沖縄電力グループ【通称：百添会(ももそえかい)】の事業領域の拡大を図り、収益基盤を強化するために、平成12年1月に社内ベンチャー制度である「MOVE(ムーブ)2000プログラム」(沖電ベンチャー制度)を創設しました。

この制度は、沖縄電力グループの社員から広く新規事業のアイデアを募集し、その中から有望なアイデアを事業化するもので、グループ会社全体の経営基盤の強化および社員のチャレンジ意欲の喚起による人材・組織の活性化を目的としております。

[制度概要]

1. 応募資格：沖縄電力(株)および関係会社社員
2. 応募コース：
 - 経営独立コース（提案者がそのまま新会社の代表者になるコース）
 - アイデア募集コース（提案者はアイデア提供のみで、新会社の代表者は公募により別の者が就任）
3. 対象事業：自由である。原則、3年目に単年度黒字化、5年目に累積損失解消が見込める事業であること。（また、本社機能を沖縄県内に置き、県経済の活性化に寄与する事業でなければならない）
4. 事業化形態：新会社設立若しくはグループ会社内に新規事業部門を設立。
5. 事業支援規模：出資と融資を合わせて1億円以下。（但し、新会社設立時の資本金は5千万円以下）
6. 事業化までのプロセス：

応募	1次審査	2次審査(プレゼンテーション)	F/S実施	最終審査
	事業化の決定	事業継続審査(3~5年後を目処)		事業化継続

以上